

ケイ子の東奔西走日記

2021(令和3)年3月～6月

6/23 果樹の霜・ひょう被害調査



会派「希望いわて」は県内3班体制で果樹被害を調査。花巻北上の県議5人と木戸口参議院議員は、花巻市東和と北上市口内のリンゴ農家を訪問しました。

4月中旬の霜で例年の半分も結実しないうえに、6月中旬のひょうで傷がつき価格の低下が心配される。薬剤散布などの作業が増え経費は増加、収入は半減とのことでした。

県内20市町村でリンゴ、ナシ、サクランボなど約3億7,000万円(6/25現在)の被害となっており、7/2の県議会農林水産委員会では、「農作物災害復旧対策事業」の発動と支援策を求めました。

5/27 政策懇談会



県議会と市議会の定例会にむけ、年4回の政策懇談会を開催。

参加者からは県立高校の再編問題、北上市の教育施設の管理や文化芸術施策の課題、区長制廃止後の不都合、ワクチン接種の予約方法や移手段などの意見が出されました。

5/26 私学振興議員クラブで花巻東高校訪問

メジャーで活躍している菊池雄星選手や大谷翔平選手が使っていた「夢実現目標達成シ-



ート」を、今度は生徒手帳に活用し全校生徒が「立志夢実現教育」に取り組んでいました。少子化時代に私学の生き残りをかけ、小田島校長をはじめ職員一丸となって魅力ある学校づくりに一生懸命でした。

有名大学への進学が多くなり、特に東大合格のエピソードなど、佐々木洋先生(野球部監督)の熱意に感心しました。

5/13～14

農林水産委員会県内調査
奥州市・一関市・陸前高田市を訪問
皆さんの熱意に感服!!

・奥州市江刺の農事組合法人上小田代(かみこだしる) 令和2年度に「農林水産大臣賞」(中山間地域等振興部門)を受賞。農地集積で省力化が進み、トマトなどの6次産業化に意欲的に取り組んでいました。

・一関市川崎の(有)かさい農産
グローバルGAP認証取得、障がい者就労支援、子育て介護のしやすい就労環境に取り組み「農林水産大臣賞」(農村漁村女性活躍法人部門)を受賞。女性のアイデアで販路拡大したと熱弁でした。

・陸前高田市のマルテン水産
大震災のボランティアをきっかけに神奈川県から移住した女性は、ワカメ養殖漁業者として独立し広田湾漁協初の女性正組合員に。



大阪府出身の2人の男性は、漁師になる夢を実現するため、いわて水産アカデミーに通いながら奮闘中でした。

パワフルな若き漁業者さん達3名を支える漁協と、陸前高田市の新規漁業者定着支援の取組みに感心しました。

4/26 立憲民主党岩手県連の街宣活動

西和賀～江釣子～北上市内の街宣に参加。

政治とカネの問題、不十分なコロナ対策、政権交代の必要を訴え、多くの方に手を振っていただきました。



4/10 「北上川に鯉のぼりを泳がせる会」



昨年はコロナで中止した「鯉のぼり」。今年は展勝地100周年でもあり、皆さん張り切って作業しました。

この事業は市の補助金も受けながら、会費と店舗等からの寄付で運営しています。メンバーは高齢者が多く後継者の課題もありますが、皆さんすごく元気です。屋根より高い鯉のぼり～。ナマズもウナギも元気に泳いでいました。

平和で明るい社会を子どもたちへ・・・

岩手県議会議員 佐藤ケイ子



県議会レポート

No.11 2021年(令和3)7月

編集発行：岩手県議会議員 佐藤ケイ子
事務所：北上市青柳町1丁目5-39 TEL0197-72-7548 fax72-7549
自宅：北上市下江釣子16-154-3 (TEL&fax 0197-77-2126)
E-mail: keiko-ktkm@poppy.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.sato2007.com/

ご意見・ご要望等をお聞かせください。今後の政策づくりに生かしてまいります。

金石に移転した復興庁で
意見交換(6/1 復興特別委員会)



あいさつ

新型コロナウイルスで療養されている皆様にお見舞い申し上げます。また、医療関係者をはじめ*エッセンシャルワーカーの皆様には長期間ご尽力いただき感謝です。

「我慢の〇週間」「勝負の〇週間」のはずが、「緊急事態宣言」が繰り返されています。医療、PCR検査、水際対策、ワクチン確保、経済対策など様々な問題に政府の対応策は後手後手ですが、首相は「安心・安全なオリンピックを開催する」と言うばかりです。

このレポートが届く頃は、復興五輪がどうなっているか、感染状況はどうか心配の日々です。北上市内でも感染が拡大しています。基本的な感染対策の再徹底に注意しましょう。

説明をつくす姿勢のない政権 選挙で示すしかない

モリトモ、加計、桜、公文書改ざん、河井夫妻の選挙買収、菅正剛氏違法接待…不正の数々に説明は無し。「どうせ選挙に行っても無駄」と無気力になることが一番の問題です。今年の秋には衆議院選挙が行われます。まずは投票しましょう。

コロナ禍の希望

大谷翔平選手や菊池雄星選手の快進撃はコロナ禍で唯一の楽しみ。投打に記録更新の快挙は県民の希望です。



投打に大活躍する大谷翔平
(写真: AP/アフロ/日経ビジネス)

県の大規模接種センター開設も ワクチン確保迷走で自治体混乱

ワクチン接種率が先進国では最低クラスと言われ、急きょ「7月までに高齢者接種の完了を…」と国から自治体へのご指導(圧力)。

6月議会で達増知事は、11月までに希望する県民にワクチン接種を完了させたいと答弁。大規模接種センターや市町村への医師等の派遣をするため、ワクチン接種加速化予算35億円と追加29億円が提案され可決されました。

ところが、全国でワクチンが確保できず予約停止となる自治体が出ています。兵庫県明石市長は「国を信じてごめんなさい」と市民に謝罪。兵庫県知事は「国はもっと反省を」と怒りを表したとのことです。

ワクチン供給減少は大型連休前から判明していたのに総選挙を意識して虚報を流したのか、デルタ株の拡大で不足したのか、それ以外の原因なのか。政府は納得できる説明をしてほしいものです。

自治体現場の困惑と市民の失望感に対し、政府は「ていねいに」応えてくれるでしょうか。

ドキュメンタリー映画 (製作 都鳥伸也・都鳥拓也)

戦争の足跡を追って ～北上・和賀の15年戦争～

とき：8月21日(土)
3回上映 10:30、14:00、18:00
場所：さくらホール(大ホール)
料金：1,000円(当日1,200円)

アジア太平洋戦争開戦から80年。北上市に眠る戦争の記憶と記録を次世代につなげるため、ぜひご鑑賞ください。

*エッセンシャルワーカーとは、生活維持に欠かせない医療、福祉、行政、物流、小売業等々ライフラインなどで働く人々のこと

